



## 誇りあるふるさと創造へ

南三陸町議会議長 後藤 清喜

新年明けましておめでとうございます。輝く平成十八年の新春を皆様と共に迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、皆様からの町政に対する暖かいご理解と、絶大なるご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今日の社会情勢は、かつて経験したことがない早さで変化し、日々新しい展開を見せ、先行きが不透明な状況にあります。

さらに、国の経済状況は緩やかな回復傾向にあると言われておりますが、その波及効果は程遠く、当地域においては、まだ、厳しい状況におかれています。

同様に、地方行政におきましても、長引く景気の低迷による雇用状況の悪化、少子高齢化社会の到来などさまざまな課

題に直面し、行政の枠組みをも大きく転換する行政改革が求められ、まさに自治体の真価が問われている時代と言っても過言ではありません。

このような中で、新生南三陸町においては、これからの地域再生と住民との新たなパートナーシップを再構築し、新町建設計画の基本方針にある「豊かな自然、集う人々、やすらげるまち、そしてにぎわい」の将来像を、早急に具現化することが命題であるものと考えております。

住民の代表機関である議会といたしましては、世紀百年の大計は正に今年にあるとの認識で、町当局と互いの知恵を出し合いながら、効率の良い行政を念頭に、地方分権の確立による地域の自立という時代の潮流を踏まえ、住民福祉の向上並びに町政の発展のために、鋭意努力を重

ねて参る所存であります。

「一年の計は元旦にあり」と申します。新年を契機に、相ともに心を新たにし、町民の皆様が一体感を醸成しながら南三陸町を誇りとし、心の豊かさや日々の暮らしに喜びを実感できるような地域社会を実現することが、何よりも肝要であると考えておりますので、どうか皆様におかれましては、相変わらずのご支援助と、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成十八年が皆様にとって最良の年となるように、ご健勝とご多幸、さらに南三陸町の限りない発展を心からご祈念申し上げます。年頭に当たりましてのご挨拶といたします。